2025年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年４月25日

上場会社名　株式会社MARUWA　　上場取引所　東 名
コード番号　5344　ＵＲＬ　https://www.maruwa-g.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）神戸　俊郎
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部COO　（氏名）山口　大介　ＴＥＬ　0561-51-0841

定時株主総会開催予定日　2025年６月20日　配当支払開始予定日　2025年６月23日
有価証券報告書提出予定日　2025年６月19日

決算補足説明資料作成の有無：　有

決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

百万円未満切捨

１．2025年３月期の連結業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）連結経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	71,849	16.7	26,914	35.9	27,033	28.0	19,242	26.5
2024年３月期	61,564	4.7	19,801	△1.7	21,121	△0.3	15,216	1.3

（注）包括利益　2025年３月期　19,678百万円（23.0%）　2024年３月期　16,000百万円（3.6%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年３月期	1,559.45	―	16.2	20.4	37.5
2024年３月期	1,233.30	―	15.0	18.3	32.2

（参考）持分法投資損益　2025年３月期　－百万円　2024年３月期　－百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	142,285	127,854	89.9	10,361.04
2024年３月期	122,515	109,203	89.1	8,851.10

（参考）自己資本　2025年３月期　127,854百万円　2024年３月期　109,203百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年３月期	25,351	△7,682	△1,512	71,568
2024年３月期	17,222	△10,814	△1,363	55,013

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年３月期	―	43.00	―	43.00	86.00	1,061	7.0	1.0
2025年３月期	―	47.00	―	47.00	94.00	1,159	6.0	1.0
2026年３月期（予想）	―	51.00	―	51.00	102.00		―	

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	34,900	0.2	12,800	0.1	―	―	―	―	―
通期	76,800	6.9	28,800	7.0	―	―	―	―	―

（注）経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期	12,372,000株	2024年３月期	12,372,000株
②　期末自己株式数	2025年３月期	32,112株	2024年３月期	34,125株
③　期中平均株式数	2025年３月期	12,339,106株	2024年３月期	12,337,609株

（参考）個別業績の概要

2025年３月期の個別業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	54,290	18.2	22,371	36.7	22,935	17.8	16,544	13.1
2024年３月期	45,949	4.0	16,363	△3.2	19,468	△1.8	14,626	△51.1

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期	1,340.85	―
2024年３月期	1,185.50	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	122,238	110,376	90.3	8,944.73
2024年３月期	106,211	94,991	89.4	7,699.15

（参考）自己資本　　2025年３月期　110,376百万円　　2024年３月期　94,991百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 2
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（会計方針の変更） …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（セグメント情報等の注記） …… 13
（１株当たり情報） …… 14
（重要な後発事象） …… 14
４．その他 …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、米国新政権による各種政策の動向が意識されたほか、ウクライナ・中東情勢を初め世界的に地政学リスクが懸念される状況が継続しました。また、為替相場は引き続き変動する動きが見られました。ハイテク市場においては、生成AIに関連した技術革新と投資の活発化が見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、半導体関連において汎用メモリ向けで市況による需要の弱含みが見られたものの、情報通信関連において次世代高速通信向けの業績が拡大したほか、車載関連において新エネルギー車向けが堅調に推移した結果、売上高は前期比16.7%増の71,849百万円となりました。営業利益は前期比35.9%増の26,914百万円、経常利益は前期比28.0%増の27,033百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比26.5%増の19,242百万円と増収増益となり、過去最高の業績となりました。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業においては、半導体関連において汎用メモリ向けで市況による需要の弱含みが見られたものの、情報通信関連において次世代高速通信向けの業績が拡大したほか、車載関連において新エネルギー車向けが堅調に推移しました。

以上の結果、売上高62,487百万円（前期比17.4%増）、セグメント利益27,086百万円（前期比35.3%増）となりました。

②照明機器事業

当事業においては、高級新築マンション市場向けの照明が活況であったことに加え、公共のLED照明導入案件が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高9,362百万円（前期比12.4%増）、セグメント利益1,437百万円（前期比27.1%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は100,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,804百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は41,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,965百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が増加したことによるものです。

これらの結果、総資産は142,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,770百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は13,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,111百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が増加したことによるものです。固定負債は498百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が増加したことによるものです。

これらの結果、負債合計は14,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,119百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は127,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,650百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益19,242百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は89.9%（前連結会計年度末は89.1%）となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、有形固定資産等の取得による支出等の要因があるものの、前連結会計年度末に比べ16,554百万円増加し、71,568百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動から得られたキャッシュは25,351百万円となり、前期比8,128百万円の増加となりました。

投資活動に使用したキャッシュは7,682百万円となり、前期比3,131百万円の減少となりました。

財務活動に使用したキャッシュは1,512百万円となり、前期比149百万円の増加となりました。

（４）今後の見通し

2026年３月期の業績見通しにつきましては、当社のトランプ関税の見解としては多くの製品が他社製品への置き換えがすぐには出来ない素材を軸とした商品展開であり、また今期より立ち上がる次世代新製品も多くあり影響は少ないと考えていますが、二次的な要因として各国の景気動向等の経済情勢が不透明なため、現時点ではそれら地政学的要素を勘案し慎重な見通しといたしました。

情報通信関連事業は、次世代高速通信の新規市場向けで引き続き強い需要が継続する見通しです。

車載関連事業は、新エネルギー車向けの需要が堅調に推移する見通しです。更なる収益アップのため、AI、ロボットの導入により収益強化を図ります。

半導体関連事業は、生成AI関連の需要が拡大することに加え、メモリ半導体市場が下期より回復することが期待されます。また、差別化製品の高純度SiCの拡大が下期より見込まれます。

産業機器関連事業は、パワーモジュール関連の需要が堅調に推移するほか、医療関連の新規製品が業績に寄与する見込みです。

照明機器関連事業は、高級新築マンション市場向けの照明や公共のLED照明導入案件が堅調に推移すると見込まれます。

業績に関して引き続き過去最高を更新することが見込まれることから、2026年３月期の配当は、前期同様の８円の増配とし、１株当たり102円を予定しております。

※為替レートにつきましては、毎年予算策定時１月末日の為替レートを適用しています。
（今期の予算策定時は１ドル154円。）
しかし、昨今の為替が大幅に変動しており、社内で再度想定為替レートの変更を行い、
１ドル144円としております。

2026年３月期第２四半期（累計）　連結業績予想　（単位：百万円）

	当期実績 （2025年３月期）	次期予想 （2026年３月期）	増減率 （%）
売上高	34,822	34,900	0.2
営業利益	12,789	12,800	0.1

2026年３月期通期　連結業績予想　（単位：百万円）

	当期実績 （2025年３月期）	次期予想 （2026年３月期）	増減率 （%）
売上高	71,849	76,800	6.9
営業利益	26,914	28,800	7.0

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当連結会計年度 （2025年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,250	71,793
受取手形	360	139
売掛金	13,960	12,420
電子記録債権	1,746	1,319
商品及び製品	2,248	2,645
仕掛品	2,960	3,803
原材料及び貯蔵品	4,575	5,398
その他	2,516	2,832
貸倒引当金	△133	△62
流動資産合計	83,485	100,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,947	14,996
機械装置及び運搬具（純額）	12,040	13,039
土地	5,005	5,047
建設仮勘定	2,952	5,474
その他（純額）	786	798
有形固定資産合計	36,733	39,356
無形固定資産		
その他	318	444
無形固定資産合計	318	444
投資その他の資産		
投資有価証券	433	482
繰延税金資産	487	639
投資不動産（純額）	935	920
その他	121	152
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,977	2,194
固定資産合計	39,029	41,995
資産合計	122,515	142,285

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当連結会計年度 （2025年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,957	2,965
電子記録債務	2,355	840
１年内返済予定の長期借入金	400	－
未払法人税等	2,851	4,929
賞与引当金	1,042	1,191
役員賞与引当金	124	149
その他	3,091	3,856
流動負債合計	12,821	13,933
固定負債		
繰延税金負債	127	131
その他	361	366
固定負債合計	489	498
負債合計	13,311	14,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,031	12,103
利益剰余金	87,573	105,705
自己株式	△210	△198
株主資本合計	108,042	126,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	39
為替換算調整勘定	989	1,557
その他の包括利益累計額合計	1,161	1,597
純資産合計	109,203	127,854
負債純資産合計	122,515	142,285

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
売上高	61,564	71,849
売上原価	30,570	32,377
売上総利益	30,994	39,472
販売費及び一般管理費	11,192	12,558
営業利益	19,801	26,914
営業外収益		
受取利息	225	331
受取賃貸料	119	126
為替差益	958	－
その他	90	110
営業外収益合計	1,394	567
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	－	382
投資不動産賃貸費用	55	53
その他	16	11
営業外費用合計	73	448
経常利益	21,121	27,033
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	39	－
補助金収入	209	2,592
その他	14	－
特別利益合計	264	2,592
特別損失		
固定資産除売却損	158	105
固定資産圧縮損	202	2,360
その他	8	－
特別損失合計	369	2,466
税金等調整前当期純利益	21,016	27,159
法人税、住民税及び事業税	5,767	8,069
法人税等調整額	33	△152
法人税等合計	5,800	7,917
当期純利益	15,216	19,242
親会社株主に帰属する当期純利益	15,216	19,242

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
当期純利益	15,216	19,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△131
為替換算調整勘定	737	567
その他の包括利益合計	784	435
包括利益	16,000	19,678
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	16,000	19,678

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,018	73,381	△209	93,838
当期変動額					
剰余金の配当			△1,024		△1,024
親会社株主に帰属する当期純利益			15,216		15,216
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		13		4	17
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	13	14,192	△1	14,203
当期末残高	8,646	12,031	87,573	△210	108,042

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	125	251	377	94,215
当期変動額				
剰余金の配当				△1,024
親会社株主に帰属する当期純利益				15,216
自己株式の取得				△5
自己株式の処分				17
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	46	737	784	784
当期変動額合計	46	737	784	14,988
当期末残高	171	989	1,161	109,203

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,031	87,573	△210	108,042
当期変動額					
剰余金の配当			△1,110		△1,110
親会社株主に帰属する当期純利益			19,242		19,242
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		72		13	85
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	72	18,131	11	18,215
当期末残高	8,646	12,103	105,705	△198	126,256

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	171	989	1,161	109,203
当期変動額				
剰余金の配当				△1,110
親会社株主に帰属する当期純利益				19,242
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				85
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△131	567	435	435
当期変動額合計	△131	567	435	18,650
当期末残高	39	1,557	1,597	127,854

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	21,016	27,159
減価償却費	4,138	4,690
貸倒引当金の増減額（△は減少）	123	△71
投資有価証券売却損益（△は益）	△31	－
固定資産除売却損益（△は益）	158	105
固定資産圧縮損	202	2,360
受取利息及び受取配当金	△239	△340
支払利息	1	0
補助金収入	△209	△2,592
売上債権の増減額（△は増加）	△3,106	2,248
棚卸資産の増減額（△は増加）	△784	△2,001
仕入債務の増減額（△は減少）	441	△944
その他	840	409
小計	22,551	31,023
利息及び配当金の受取額	213	340
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△5,555	△6,011
補償金の受取額	14	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,222	25,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△9	－
有形固定資産の取得による支出	△11,167	△9,912
有形固定資産の売却による収入	8	0
有形固定資産の除却による支出	△83	△74
無形固定資産の取得による支出	△74	△185
投資有価証券の取得による支出	△123	△219
投資有価証券の売却による収入	320	－
補助金の受取額	309	2,692
その他	5	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,814	△7,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△333	△400
自己株式の取得による支出	△5	△1
配当金の支払額	△1,024	△1,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,363	△1,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	382	398
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,427	16,554
現金及び現金同等物の期首残高	49,585	55,013
現金及び現金同等物の期末残高	55,013	71,568

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－３項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－２項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。これによる前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「セラミック部品事業」及び「照明機器事業」の２つを報告セグメントとしております。

「セラミック部品事業」は、電子部品やセラミック基板、半導体製造装置に関連する製品等を生産・販売しております。「照明機器事業」は、従来照明機器のほかLEDを使用した照明機器を生産・販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)２
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,232	8,332	61,564	－	61,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	120	126	△126	－
計	53,238	8,452	61,691	△126	61,564
セグメント利益	20,026	1,130	21,157	△1,355	19,801
セグメント資産	112,257	8,046	120,304	2,211	122,515
その他の項目					
減価償却費	3,973	88	4,062	76	4,138
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,534	103	9,638	101	9,739

（注）１．セグメント利益の調整額△1,355百万円には、セグメント間取引消去△36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,319百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．セグメント資産の調整額2,211百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金（定期預金等）、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。

４．減価償却費の調整額76百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

５．有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額101百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)２
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,487	9,362	71,849	－	71,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	37	45	△45	－
計	62,494	9,400	71,895	△45	71,849
セグメント利益	27,086	1,437	28,524	△1,609	26,914
セグメント資産	130,554	9,044	139,598	2,687	142,285
その他の項目					
減価償却費	4,461	96	4,557	132	4,690
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	8,854	427	9,282	369	9,652

（注）１．セグメント利益の調整額△1,609百万円には、セグメント間取引消去53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,663百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．セグメント資産の調整額2,687百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金（定期預金等）、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。

４．減価償却費の調整額132百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

５．有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額369百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
１株当たり純資産額	8,851.10円	10,361.04円
１株当たり当期純利益	1,233.30円	1,559.45円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	15,216	19,242
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	15,216	19,242
期中平均株式数（千株）	12,337	12,339

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．その他

（１）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

利益配分は、株主の皆様への安定的な配当継続を重視するとともに、新たな成長分野への機動的な設備投資や研究開発の維持・強化及びESG・SDGsへの取組みを充実させることを基本方針としております。

②当期の剰余金の配当

当期の期末配当金は、１株当たり47円の予定です。

よって年間配当は、中間配当金を加えた１株当たり94円となります。

③次期の剰余金の配当

次期の利益配分につきましては、100年に一度の変革期の中で、ESGやSDGsに注力した機動的な取組みや将来を見据えた積極的な研究開発による企業価値の向上を重視し、株主還元については、８円の増配を決め、年間配当として１株当たり102円（中間配当として１株当たり51円、期末配当として１株当たり51円）を予定しております。